

EPSON OPOS ADK for .NET マニュアル

アプリケーション開発ガイド Scanner

Version 1.14.13 Jan. 2020

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容についてつきましては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容についてつきましては、万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) このソフトウェアは指定された装置以外には使用できません。
- (5) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft®、Windows®、Windows Server® および Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

IBM® および PC/AT® は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

EPSON® は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

ESC/POS® は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Bluetooth®は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

引用している会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright (c) 2020 Seiko Epson Corporation

目次

第1章 はじめに	1
1.1 本文中の語句について	1
第2章 Scannerを使用する前に	2
2.1 デバイスの設定	2
2.2 バーコードリーダーが接続可能なインターフェイスについて	2
2.3 注意・制限事項	2
第3章 プロパティ・メソッド・イベント	3
3.1 プロパティ	3
3.1.1 CapPowerReportingプロパティ	3
3.1.2 DecodeDataプロパティ	3
3.1.3 ScanDataプロパティ	3
3.1.4 ScanDataLabelプロパティ	3
3.1.5 ScanDataTypeプロパティ	3
3.2 メソッド	4
3.2.1 CheckHelthメソッド	4
3.2.2 DirectIOメソッド	4
3.3 イベント	5
3.3.1 DirectIOEventイベント	5
3.3.2 ErrorEventイベント	5
Appendix-A 改訂履歴	6
A.1 EPSON OPOS ADK for .NET 1.14.13.....	6
Appendix-B デバイスの登録手順	7
Appendix-C プロパティの初期値	9
Appendix-D DeviceStatistics	10

第1章 はじめに

EPSON OPOS ADK for .NETにおいて、Scannerを使用する場合の使用方法や関連事項、およびデバイス特有の注意事項を記載します。

POS for .NET の API の詳細につきましては、「UnifiedPOS Retail Peripheral Architecture Version 1.14.1」、および MSDN の「POS for .NET v1.14.1 SDK Documentation」を参照してください。最新情報の入手先については、リリースノートを参照してください。

1.1 本文中の語句について

- 「UnifiedPOS Retail Peripheral Architecture Version 1.14.1」を、「UPOS」と略すことがあります。
- 「Microsoft POS for .NET」は「POS.NET」と略すことがあります。
- 「EPSON OPOS ADK for .NET Version 1.14.13」を、「OPOS.NET」と略すことがあります。
- 「Scanner」を、「デバイス」と略すことがあります。
- 「OPOS.NET で提供される Scanner の ServiceObject」を、「ServiceObject」と略すことがあります。
- 「PosControlException の ErrorCode プロパティ」を、「ErrorCode」と略すことがあります。
- 「PosControlException の ErrorCodeExtended プロパティ」を、「ErrorCodeExtended」と略すことがあります。
- 「例外」は、「PosControlException」を指します。
- 本 ServiceObject で使用する EPSON 独自のデバイス定数は、「jp.co.epson.uposcommon.EpsonUPOSConst」、および「jp.co.epson.uposcommon.EpsonScannerConst」に定義されています。

第2章 Scannerを使用する前に

デバイスの設定方法や、使用時の注意・制限事項について説明します。

2.1 デバイスの設定

バーコードリーダーの設定を確認した後、「Appendix-B デバイスの登録手順」に従ってデバイスを登録してください。

2.2 バーコードリーダーが接続可能なインターフェイスについて

バーコードリーダーが接続可能なインターフェイスは以下の機種になります。

I/F					
Serial	Parallel	USB	Ethernet	Wireless	Bluetooth
×	×	○	○	○	○

2.3 注意・制限事項

- EPSON 認定品以外のバーコードリーダーを接続した場合の動作は保証しません。
- バーコードリーダーをPCに直接接続を行う方法は、サポートしていません。
直接接続する場合は、各バーコードリーダーメーカーが提供する OPOS.NET ドライバーを使用してください。
- バーコードリーダーのターミネーターの設定は、CR (改行コード) にしてください。これ以外の設定ではデータを取得できません。
バーコードリーダー設定の詳細につきましては、各バーコードリーダーメーカーが提供するマニュアル・ユーティリティ等を参照してください。
- バーコードリーダーのサフィックスの設定は、CR (改行コード) を設定しないでください。
- CR(改行コード)のみのバーコードをスキャンした場合、OPOS.NET は、アプリケーションに対して ErrorEvent を発行します。
- データ中に CR(改行コード)を含むバーコードはサポートしていません。
スキャンを行った場合、データが途切れてアプリケーションに通知されます。
- プリンター電源再投入直後のバーコードスキャンは ServiceObject が初期化処理を実行しているため、スキャンデータが取得できない場合があります。
- バーコードリーダーを接続するプリンターの設定は、必ず「オフライン中コマンド実行」を有効に設定してください。
設定方法につきましては、製品同梱マニュアルをご確認ください。

第3章 プロパティ・メソッド・イベント

3.1 プロパティ

UPOS に記述されている機能と異なるプロパティを以下に示します。

プロパティの初期値については「Appendix-C プロパティの初期値」を参照してください。

3.1.1 CapPowerReporting プロパティ

説明 接続しているプリンタデバイスの通知能力を識別します。
このプロパティは以下のいずれかの値が設定されます。

値	意味
PowerReporting.Standard	Bluetooth 接続の場合に設定される値です。 ServiceObject は、OFF_OFFLINE(電源オフ、またはオフライン)と ONLINE の2種類の電源状態を判断し、通知が可能です。
PowerReporting.Advanced	USB、ネットワーク接続時に設定される値です。 ServiceObject は、OFF、OFFLINE と ONLINE の3種類の電源状態を判断し通知が可能です。

3.1.2 DecodeData プロパティ

説明 値を変更した場合、例外が通知され、値の変更は行われません。

3.1.3 ScanData プロパティ

説明 バーコードリーダーから読み込まれたスキャンデータが設定されます。
ターミネーターは含まれません。

3.1.4 ScanDataLabel プロパティ

説明 値が設定されることはありません。

3.1.5 ScanDataType プロパティ

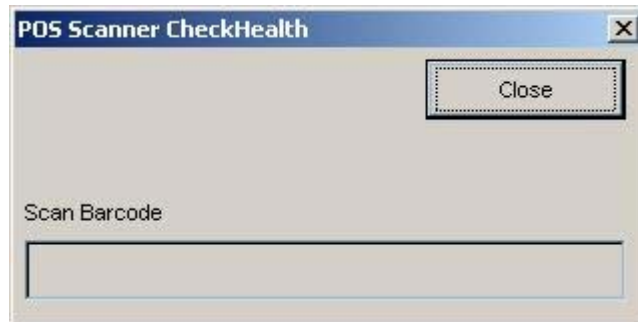
説明 「BarcodeSymbology.Unknown」が設定され、値は変更されません。

3.2 メソッド

UPOS に記述されている機能と異なるメソッドを以下に示します。

3.2.1 CheckHelth メソッド

説明 「HealthCheckLevel.Interactive」のみをサポートしています。
 「HealthCheckLevel.Interactive」を実行した場合、以下のダイアログボックスを表示します。



バーコードリーダーでバーコードスキャンを行うと、結果を[Scan Barcode]エディットボックスに表示します。

読み込み結果により、以下のメッセージが表示されます。

値	意味
<バーコードデータ>	ScanData プロパティと同じ値
Scanner Read Error	入力データが不正

[Close]ボタンを押すと、CheckHealth を終了します。
 実行結果は、CheckHealthText プロパティに格納されます。
 そしてまた、メソッドの戻り値としても下記の値が取得されます。

値	意味
Interactive HCheck: Canceled	何もせずに、 CheckHealth メソッドを終了しました。
Interactive HCheck: Complete	CheckHealth メソッドを終了しました。

3.2.2 DirectIO メソッド

説明 **DirectIO** メソッドは、「非サポート」です。

3.3 イベント

3.3.1 DirectIOEvent イベント

説明 このイベントが発行されることはありません。

3.3.2 ErrorEvent イベント

説明 ErrorEvent 発行時に DataEvent がバッファにある場合は、ErrorLocus.InputData が設定されます。
そうではない場合は、ErrorLocus.Input が設定されます。

ErrorEvent 発行時の ResultCodeExtended の値と意味は、以下の通りです。

値	意味
UPOS_ESCAN_DATAFORMAT	Scanner から受信したバーコードデータのフォーマットが不正です。
UPOS_ESCAN_PORTCOMM	データの送受信時にエラーが発生しました。

Appendix-A 改訂履歴

A.1 EPSON OPOS ADK for .NET 1.14.13

(1) Scanner を新規に対応しました。

Appendix-B デバイスの登録手順

本デバイスの登録は、Configuration.xml に直接登録情報を記載することで登録できます。
登録手順は、以下の通りです。

- ① SetupPOS で PosPrinter の登録を先に行う。
- ② ①の PosPrinter に対応した Scanner 登録用 xml ファイルを開く。
<C:¥Program Files¥EPSON¥OPOS for .NET¥xml¥Scanner>
- ③ 管理者権限で、以下のフォルダにある Configuration.xml をテキストエディター(メモ帳等)で開く
<C:¥ProgramData¥Microsoft¥Point Of Service¥Configuration>
- ④ ②で開いたファイルから設定内容をコピーし、以下の例のように Configuration.xml に貼り付けてください。

```
<?xml version="1.0"?>
<PointOfServiceConfig Version="1.0">
  <ServiceObject Type="PosPrinter" Name="TM-m30II">
    <Device HardwarePath="TM-m30II">
      . . .
      <Property Name="LogicalPortName" Value="ESDPRT001" />
    </Device>
  </ServiceObject>
  <ServiceObject Type="Scanner" Name="StandardScanner">
    <Device HardwarePath="TM-m30II">
      <LogicalName Name="Scanner-USB" />
      <Property Name="epson.tracing" Value="false" />
      <Property Name="LogicalPortName" Value="ESDPRT001" />
      <Property Name="PhysicalDevice" Value="TM-m30II" />
      <Property Name="PortInterfaceName" Value="USB" />
      <Property Name="PortName" Value="TM-m30II" />
      <Property Name="PortType" Value="2" />
    </Device>
  </ServiceObject>
</PointOfServiceConfig>
```

- ⑤ 各設定項目の内容は、以下の通りです。LogicalPortName、HardwarePath、PortName を PosPrinter と同じ値に合わせてください。

プロパティ名	説明	変更可否
HardwarePath	サービスオブジェクトへのアクセス先 例) USB:TM-m30II Ethernet or Wireless:192.168.192.168 Bluetooth:COM1	○
epson.tracing	トレース機能の有効/無効 (true/false)	○
LogicalName	論理デバイス名	◎
LogicalPortName	Epson 独自のポート名	○
PhysicalDevice	物理デバイス名	×
PortInterfaceName	通信接続名 USB Ethernet Wireless Bluetooth	○
PortName	IP アドレス及び COM の設定 例) USB:TM-m30II Ethernet or Wireless:192.168.192.168 Bluetooth:COM1	○
PortType	接続 I/F の番号 USB:2 Ethernet:3 Wireless:5 Bluetooth:6	○

◎:任意
○:Printer と同じ値
×:不可

Appendix-C プロパティの初期値

本デバイスのプロパティ初期値を以下に示します。

プロパティ名	初期値/規定値	設定可能値
AutoDisable	false	false
CapCompareFirmwareVersion	false	-
CapPowerReporting	PowerReportting.Standard, or PowerReportting.Advanced (Interface により異なる)	-
CapStatisticsReporting	true	-
CapUpdateFirmware	false	-
CapUpdateStatistics	true	-
CheckHealthText	""	-
Claimed	false	-
DataCount	0	-
DataEventEnabled	false	true false
DeviceDescription	"Standard Scanner"	-
DeviceEnabled	false	true false
DeviceName	"Standard"	-
FreezeEvents	false	true false
PowerNotify	PowerNotification.Disabled	PowerNotification.Disabled PowerNotification.Enabled
PowerState	PowerState.Unknown	-
State	ControlState.Closed	-
DecodeData	false	-
ScanData	byte[0]	-
ScanDataLabel	byte[0]	-
ScanDataType	BarCodeSymbology.Unknown	-

Appendix-D DeviceStatistics

本デバイスの Statistics 機能一覧を以下に示します。

XML 定義名	説明	リセット可否	更新可否
UnifiedPOSVersion	UPOS バージョン	×	×
DeviceCategory	デバイスカテゴリ	×	×
ManufactureName	製造元	×	×
ModelName	デバイス名	×	×
SerialNumber	シリアルナンバー	×	×
ManufactureDate	製造日	×	×
MechanicalRevision	デバイスリビジョン	×	×
FirmwareRevision	ファームウェアバージョン	×	×
Interface	インターフェイス	×	×
InstallationDate	インストール日付	×	×
HoursPoweredCount	稼働時間	○	○
CommunicationErrorCount	コミュニケーションエラー回数	○	○
GoodScanCount	スキャン成功回数	○	○

○:可

×:不可